



市長と会派政策懇談会

令和8年度予算施策について5点要望

8月13日の予定で、市長との会派政策懇談会が行われます。先だって日本共産党愛西市議団として会派の政策提案を5点しました。内容を紹介します。

①基金運用第三者検討委員会の設置を

基金の含み損が発生していることや、基金の運用に問題がなかったかの検証をおこない今後の基金運用のあり方を決めていくためにも基金運用第三者検証委員会の設置をすることを求めました。

愛西市の基金の運用の問題点として、

基金の流動性がなくなることによる機動的な住民サービスができなくなってしまう「流動性リスク軽視」。

市長が意思決定をしていなかった「意思決定の不備」。

市長への報告がなされていなかった「情報共有の欠如」。

などの重大な問題があります。

専門家を含む第三者による検証をおこない今後のリスク管理を進めていく必要があります。

②新しい部署を作り、公共施設の整備更新は一元管理を

佐織・立田体育館の廃止、コミュニティセンターの廃止を含む公共施設総合管理計画を見直しを求めます。

また、公共施設の管理運営を所管部署任せにせず、新たな部署をつくり計画的に一元管理し、整備、更新を行うよう求めます。

空調の不調、雨漏り、ボイラーの不調など旧八開庁舎、八開総合福祉センター、佐織総合福祉センター、佐屋老人福祉センターなどにおいて公共施設の老朽化により、市のサービスに影響が出ています。

③道の駅周辺整備は縮小、管理運営費は削減を

道の駅周辺整備はいったん工事をやめ、あり方について見直し、施設管理運営の費用の縮減を求めます。

50億円の整備費用は高額です。市の財政への影響を少なくするため規模の縮小と施設の管理費用の縮減の必要があります。

④小中学校の統廃合の計画は中止。優先して老朽化対策を

愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画第一期の中学校の統合、小学校の統合の施策の白紙撤回を求めます。

①小規模校のメリットを生かし、学校は、存続する方針へ変更し、教員の確保をすすめ市独自に加配を求めます。

②小中学校校舎老朽化対策を早急に行うことを求めます。

学校を中心に地域が作られてきています。児童生徒数の減少によって学校統合するという方針は、児童生徒のための適正化とはなりません。特認校制度も検討し、教育の愛西市といわれるようするためです。

校舎老朽化の対策は優先して計画を策定し、対策を進めることにより安全に学べる保障となります。

⑤国民健康保険税の負担軽減を

国民健康保険税を値上げしないよう求めます。18歳までの均等割の無料化を行い、市独自減免を拡大すること求めます。基金を作り基金へ繰り入れて激変緩和に備えるよう求めます。

令和7年度国民健康保険税が大幅に値上げされ、市民からは高すぎるの声が届きます。稲沢市の取り組みを研究して負担を軽減することを求めます。

街の声

佐織総合福祉センターで子どもの定期検診を行ってほしい。

佐織総合福祉センターの空調が故障しているとの理由で、子どもの定期検診が佐屋保健センターで行われています。

移動時間が大変です。早く佐織で行えるようにしてほしい。(佐織町女性)

<日本共産党街頭演説会>

7月16日(水)ヨシヅヤ佐屋店前にて日本共産党街頭演説会がありました。50人を超える参加者は、「参議院選挙で自公を少数に」「外国人がたくさん住んでいる愛知県で差別ではなく多文化共生できる社会をつくっていききたい」との訴えに聴衆は大きくうなずき拍手が起こっていました。

7月20日は参議院選挙の投票日です。投票に行きましょう。

